

あけましておめでとうございます नयाँ बर्षको शुभअपलक्षमा तर्दिक शुभकामना

2015 年も皆様のご健康とご多幸をお祈り致します

特定非営利活動法人ミランクラブジャパン
理事長 マナンダール マダーブ ナラエン

ミランクラブジャパンは今年 27 年目を迎えました。このように活動を継続できるのも会員皆様のご支援とご協力があってこそのもです。心から感謝申し上げます。

まず、昨年の活動をご報告したいと思えます。10/4 (土) ~10/5 (日) 日比谷公園での“グローバルフェスタ JAPAN2014”に参加しました。2つのブースを借り、活動紹介、物品販売とサリー着付け、もう1つでネパール料理販売を行いました。どちらも大勢の人で賑わいました。今年は残念ながら2日目は台風のため、午後から中止となりました。10/18 (土) は埼玉支部の皆さんによる越谷しらこぼと水上公園でのフリーマーケットに参加しました。10/18 (土) ~10/19 (日) 横浜で“よこはま国際フェスタ 2014”に参加し、活動紹介、雑貨販売を行いました。11/1 (土) ~11/2 (日) さいたま新都心で行われた“埼玉国際フェア”でも活動紹介や雑貨販売、サリー着付けを行いました。皆様のご協力により昨年も例年通りの活動を展開でき感謝しております。こうした参加型のボランティア活動はとても大事で、会員同志が集える場ともなっているのは嬉しいものです。各会場来場者の方々にネパールの教育事情等を伝えられ、関心を持ってもらえたのは有意義でした。こうした地道な活動は今後とも続ける必要があると痛感しています。

昨年は会員の齋藤さんが音楽教師としてミラダルマスタリ学校に派遣されました。4月から9月の約半年間、寄宿舎で子供たちと生活を共にしながらの滞在でした。

帰国後の11月30日は“わたしたちにも

できる国際ボランティア”のセミナーで教師派遣に関わる話をしてくれました。セミナーでは日本ネパール協会の湊理事、JICA元青年海外協力隊員でネパール滞在経験のある若林さんを招いて、ネパール関係の話聞くことができました。JICA地球ひろばで行われたセミナーは予定人数を超える参加申し込みでお断りせざるを得ないという皆様の関心の高さでした。このようなセミナーを定期的に行えたらと思いました。

次に現在の里子、職業訓練所、ダルマスタリ学校等について簡単にご報告します。

1. ミラン里子制度

ミラン里子制度は、1990年から始まりました。現在里親会員は107名です。会員からの支援金は日本よりは利子の高いネパールの金融機関に預け、その利子から支援を行っています。ミランクラブの支援の方法は、他団体の短期の支援と違い、自立可能な高校卒業までとなっています。又、高校を優秀な成績で卒業し、進学希望がある里子にも支援をしています。1990年に1人の里子から始まったこの制度は現在総計844名になりました。現在この制度を受けている子供たちは312名です。内訳は、小~高等学校で286名、大学生26名です。社会人になっている里子は200名以上います。里子たちの中には教員、会社員、エンジニア、医師、看護婦などの職業に就き自立し、社会貢献している卒業生も増えています。結婚した里子たちは教育の大切さを子供たちに伝えていくことでしょう。

ミランクラブは毎年支援金で賄える範囲

で新しい里子を受け入れています。教育支援費は小学校1年生から高校10年生は500ルピー（約500円）、そして成績優秀で卒業し短大以上の学生にも700ルピー（約700円）支援しています。短大生、大学生の場合、特別里親の方が支援して下さった場合、奨学金は中止となります。現在特別里親13名で24名の里子を支援しています。

年度別支援里子数

1名 1990	1名 1991	11名 1992-93	19名 1994
29名 1995	23名 1996	29名 1997	27名 1998
37名 1999	45名 2000	26名 2001	31名 2002
32名 2003	118名 2004	26名 2005	54名 2006
34名 2007	42名 2008	31名 2009	35名 2010
33名 2011	46名 2012	45名 2013	69名 2014

2. ミラン職業訓練所

職業訓練所はミランダルマスタリ学園センター敷地内にあります。現在、教育環境整備会員の会費から職業訓練所運営にかかる教師の給料や設備費などを賄っています。昨年、埼玉県国際交流協会よりネパール農山村地域における女性の自立支援としての助成金が決まり、職業訓練所に使えることになりました。

職業訓練は多くの村人たちの自立支援に役立っています。今後はより多くの村人たちが職業訓練を受けられるように、会員を増やしていきたいと考えています。この施設は学校敷地内にあるため、学生にも設備が使えるよう工夫されています。

またミランダルマスタリ学園センターで機材を使っていない時はミランクラブネパ

ールの支部がある地方に貸し出して、地方でも職業訓練を行っています。最近も貸し出しを行っていて、昨年12月10日からドルカ郡のガイリムディ村で6カ月コースのミシンクラスが始まりました。期間は今年の6月15日までの予定で受講生は25名です。先生はリヌ・タマン女史、参考までに給料は月8,000ルピーとなっています。訓練種目は以下の通りです。作品の一部は日本にも送られる予定なのでボランティア活動に生かせたらと願っています。

Training items (For basic course):

訓練種目（基礎コース）

1. Baby photo 子供下着
2. Baby topi 子供帽子
3. Baby Napkin 子供ガーゼハンカチ
4. Baby Daura suruwal 子供服（男子）
5. Ladies Maxi 女性普段着
6. Ladies Petikot 女性ペチコート
7. Blouse ブラウス
8. Midi スカート
9. Kurta suruwal 女性服
10. Ladies choli 女性用ブラウス
11. Misa Mhicha 小物入れ
12. Topi ネパール帽
13. Apron エプロン



職業訓練風景

3. ミランダルマスタリ学校

ネパール教育省の登録方針の下、ミラン

ダルマスタリ学校は保育園～10年生（高等学校）までの校舎になっています。学校教職員は21名（男10名、女11名）です。そして全校生徒数は314名です。ミランクラブの主旨に基づいて学校は、一人でも多くの子供が学校へ行けるようにと奨学金制度も設けています。現在、奨学金を受けている生徒は58名います。ミランクラブの里子9名は学校からの奨学金としてではなく、授業料無料となっています。

ダルマスタリ学校生徒数

学年		男	女	生徒数
保育園	1年	11	20	31
	幼稚園	1年	14	9
	2年	12	14	26
小学校	1年	12	19	31
	2年	16	14	30
	3年	12	12	24
	4年	7	23	30
	5年	4	14	18
中学校	1年	19	9	28
	2年	12	9	21
	3年	7	6	13
高等学校	1年	10	11	21
	2年	10	8	18
生徒数合計		168	146	314

す。ミランダルマスタリ学校は最初の SLC 受験で合格率 100% (13 名) になってから毎年この成績を維持しています。昨年も特等級や一等級といった優秀な成績を残すことができています。今後とも良い成績で卒業できるよう頑張っけて欲しいです。



2年生クラスの授業風景

学費は経済的に恵まれない子供たちも通学できるよう、他の私立学校から比べると低価格で設定されています。公立学校から比べても2分の1弱となっています。それに伴い先生方の給料も平均の半分程度に抑えられていて、ここは改善しなければならないと考えています。

学校にはまだまだ設備等は不足していますが、運営可能範囲で毎年全生徒の健康チェックや年2回遠足なども行っています。学校の評判はとても良く、遠方から通う生徒も昨年より増えました。



ミランダルマスタリ学校

各学校の評価は、難関である高等学校卒業試験 (SLC) に合格する生徒数で決まりま



元里子によるヘルスキャンプ

またボランティアでヘルスキャンプを行

い生徒たちの健康チェックを行っています。昨年春もこのキャンプを行い、元里子のスナム医師を始め、彼女の勤務先の医師も参加したそうです。薬の寄付もありました。

4. ミラン図書室

ミランダルマスタリ学校は評判がよく、毎年生徒数が増加しています。学校には自由に使える図書室の利用率も増えています。スミトラ・アディカリ女史は保育園から高学年まで幅広く使える図書が揃えてあるので、生徒たちは自由時間を利用して来ることが多いと言っています。図書室には約8千冊余りの図書があり、ネパール語、英語の本だけではなく、日本語の本もあります。生徒たちは日本の絵本や漫画本をよく見ているようで日本に関心があるようです。



図書室で勉強する生徒たち

図書室にはインターネットや印刷機なども整備しているので、生徒を始め、教師たちも利用しています。また図書室を借りきって授業にも活用されています。図書室は農村地域の住民にも一部開放されていて喜ばれています。現在、図書室の管理は元里子のスミトラ・アディカリが行っていますが、上級クラスの生徒も手伝いに来そうです。

5. ミラン寄宿舎

学校と同じ敷地内にある寄宿舎に現在19名の寄宿生がいます。校長先生一家も同

じ棟にいますので、子供たちの世話は行き届いており安心です。図書室管理のスミトラもここに住んでいて子供たちの教育の面倒をみえています。調理担当の女性は子供たちの健康を考えて、バランスの良い食事をしっかり作ります。その他にガードマン一名が常駐し安全を守っています。



寄宿舎

寄宿舎での生活は規則正しく勉強も見てもらえるので、親は安心です。

寄宿舎での時間割

時間	内容
5:30	起床
6:30	軽食 (ミルクティ・ビスケット・玉子など)
7:00	勉強、読書
8:30	朝食 *
9:15	登校
13:05	昼休み 30分、軽食
16:00	下校 シャワーまたは身を清める
16:30	間食
16:45	宿題
17:30	自由時間
18:00	勉強
20:00	夕食 *
20:30	テレビ観賞、雑談
21:30	就寝

* 日本の食事に当たるものは2回です。

最後に、私達の活動は今後も続きます。どうぞ皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願い致します。

皆様にとって良い年でありますように。